

# 入隊者の声

## 第1回 航空自衛隊幹部候補生学校

一般幹部候補生 空曹長 谷村 謙太



### Profile

谷村 謙太 (たにむら けんた)

平成28年3月三重大学卒業後、一般空曹候補生として航空自衛隊に入隊。その後、一般幹部候補生(空自飛行要員)採用試験に合格し、現在は幹部自衛官と戦闘機パイロットの二刀流を目指して奮進中

多くの入隊者は、自衛官の階級のうち最も下である2士から自衛官のキャリアをスタートする。谷村謙太も例外ではなかったが、この男はパイロットになりたいという夢を実現すべく、果敢にも幹部候補生採用試験に挑み、見事に打ち勝ってパイロット要員である幹部候補生に成り上がった。絵に描いたようなサクセスストーリーを歩む彼にお話を伺いました。

(聞き手：自衛隊三重地方協力本部募集課長 / 取材日：平成29年8月30日)

Q 入隊動機は？

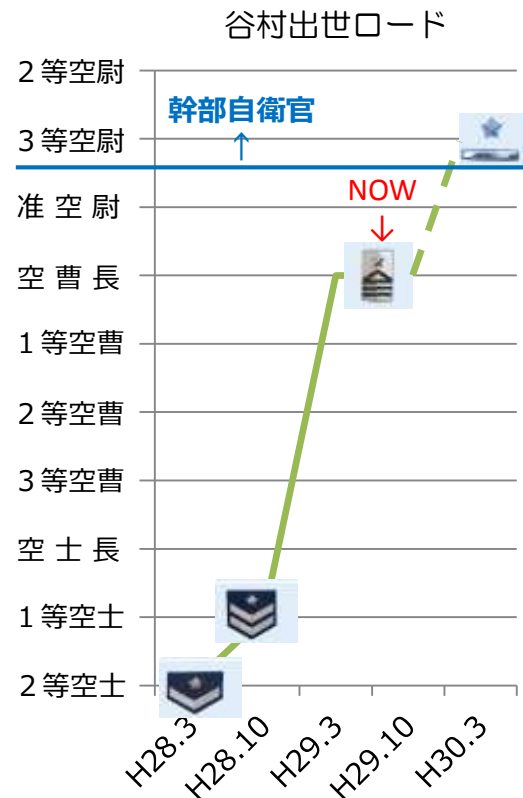
A 小学生の頃、近所の八尾飛行場で飛行機を見て、パイロットになりたいと思いました。でも民間では一定の経路を飛ぶだけだと思いましたので、戦闘機パイロットになりたいと思いました。

Q 大空への憧れを抱いて自衛隊に入ってきたようですが、はじめは一般空曹候補生での入隊ということで、パイロットでも幹部候補生でもなかったんですね？

A はい。一般空曹候補生として入隊し、埼玉県熊谷基地で3か月の教育訓練を受けた後、航空機整備員となるために静岡県浜松基地で整備の勉強をしていました。でも、パイロットになりたい気持ちは変わらなかったため、一般幹部候補生の試験を受験しました。

Q そして見事に合格し、今や幹部候補生で階級も空曹長だと。普通なら昇任まで20～30年くらいかかる階級に僅か入隊2年目であり、来年には更に3等空尉にまでなりますね。幹部候補生の試験勉強はいつしていたんですか？

A 熊谷基地にいた時から、毎晩睡眠時間を削って勉強したり、休日にまとめて勉強したりしていました。



Q 自衛隊での教育訓練を受けながらの受験勉強はさぞかし大変だったでしょう。でも、やればできるということを証明したんですね。苦労して入った幹部候補生学校での教育訓練や生活はどうか？

A 課題付与が多くて大変ですが、休日はみんなと飲みに行ったり観光に行ったりと、充実した楽しい毎日を送っています。

Q 幹部候補生学校は大変だけど、同期入隊の仲間がたくさんいるから楽しいよね。仲間と切磋琢磨しながら立派な幹部自衛官になろうとしている谷村候補生の夢は何ですか？

A やはり戦闘機パイロットですね。特にF-15に乗りたいです。海外での訓練や対領空侵犯措置にも従事してみたいです。

Q 空自はグアムやアラスカなどで訓練をしますからね。対領空侵犯措置も重要な任務です。それでは、これから自衛官を目指す人にメッセージをお願いします。

A 自衛隊は、日本を守るためになくてはならない存在です。これから自衛官になる方も、きっとやりがいを感じると思います。

Q 母校の三重大学の皆さんに対してはどうか？

A 三重大学の人々が自衛隊を受けるなら幹部候補生を目指すと思います。幹部として組織を率いることを期待され、とてもやりがいがあると思いますので、皆さんぜひ受験してください。また、自衛隊の幹部候補生学校には優秀な人がたくさんいますので、入隊後も負けないように頑張ってください。

Q あなたも他の優秀な学生に負けないように頑張ってください。ありがとうございました。



谷村謙太が将来乗り回しているかも知れない  
F-15戦闘機（出典：航空自衛隊HP）



若者らしい澆刺とした印象の谷村候補生。その瞳は希望に満ち溢れていました。優秀な戦闘機パイロットとして、そして立派な幹部自衛官として、今後更なる成長を遂げて活躍されることを、自衛隊三重地方協力本部としても期待しております。